

「コーポレートガバナンス・コードの改訂」に関するアンケート調査 補足資料

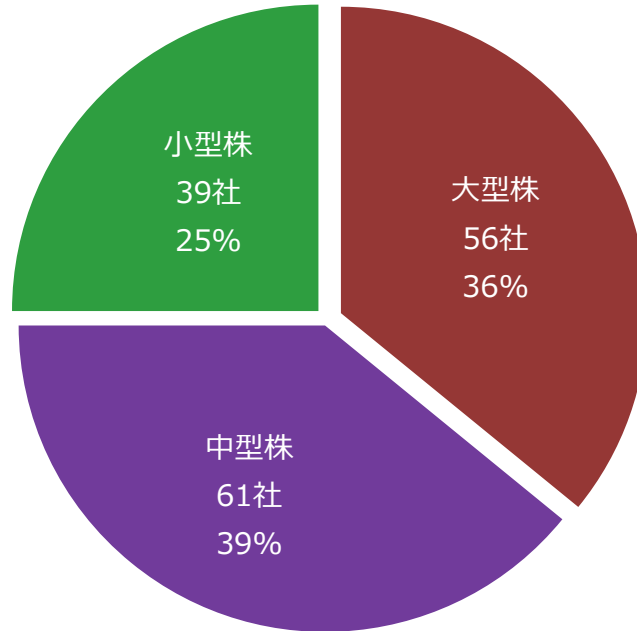
本資料は、2026 年 8 月に日本 I R 協議会が実施した「コーポレートガバナンス・コードの改訂」に関するアンケート調査の補足資料です。本資料に掲載のグラフやデータを引用される場合は、日本 I R 協議会（jira@jira.or.jp）までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

目次

※ 時価総額の規模別		2
------------	-------	---

回答した企業(156 社)の株式時価総額(2026 年 7 月時点) 別の内訳

回答企業の株式時価総額別の分布



※回答企業(156 社)の株式時価総額(2026 年 7 月時点) 別の内訳

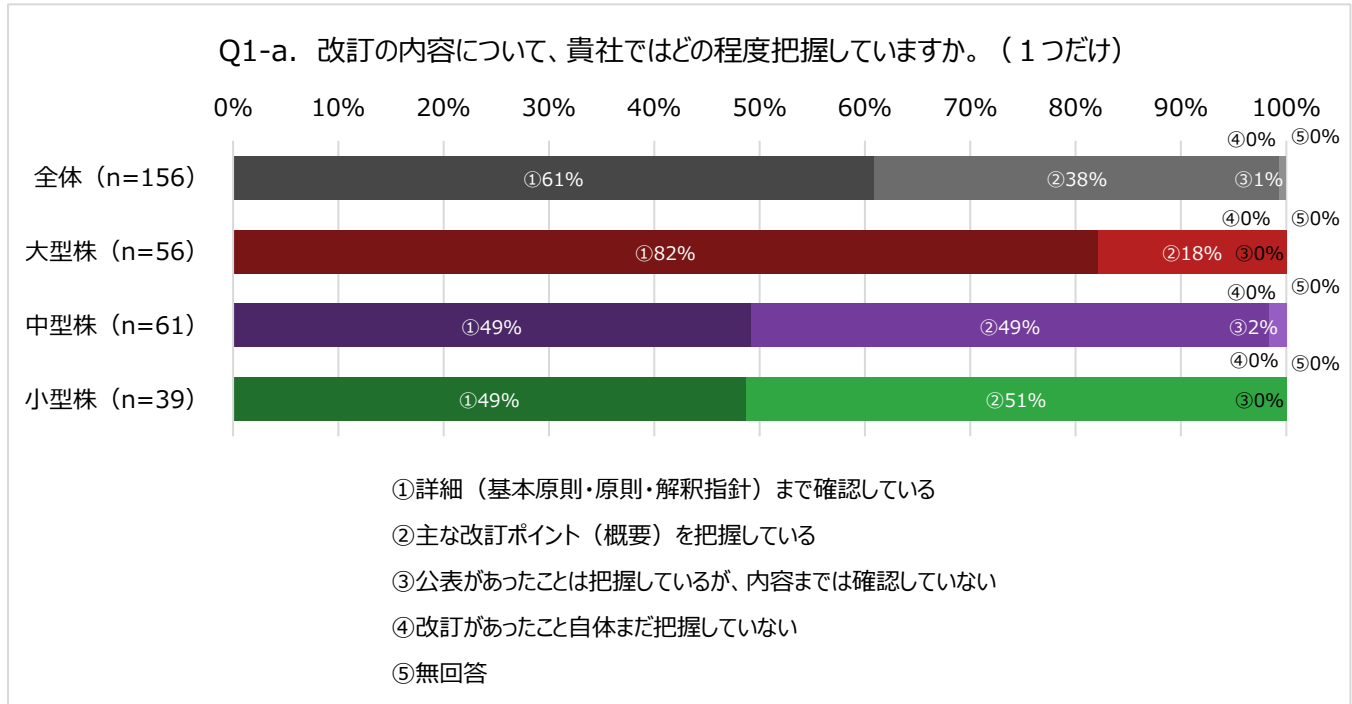
	大型株 (1 兆円以上)	中型株 (1000 億円以上 1 兆円未満)	小型株 (1000 億円未満)
社数	56 社	61 社	39 社
割合	36%	39%	25%

※各グラフでは、全体を灰色系、大型株を赤系、中型株を紫系、小型株を緑系で示しています。

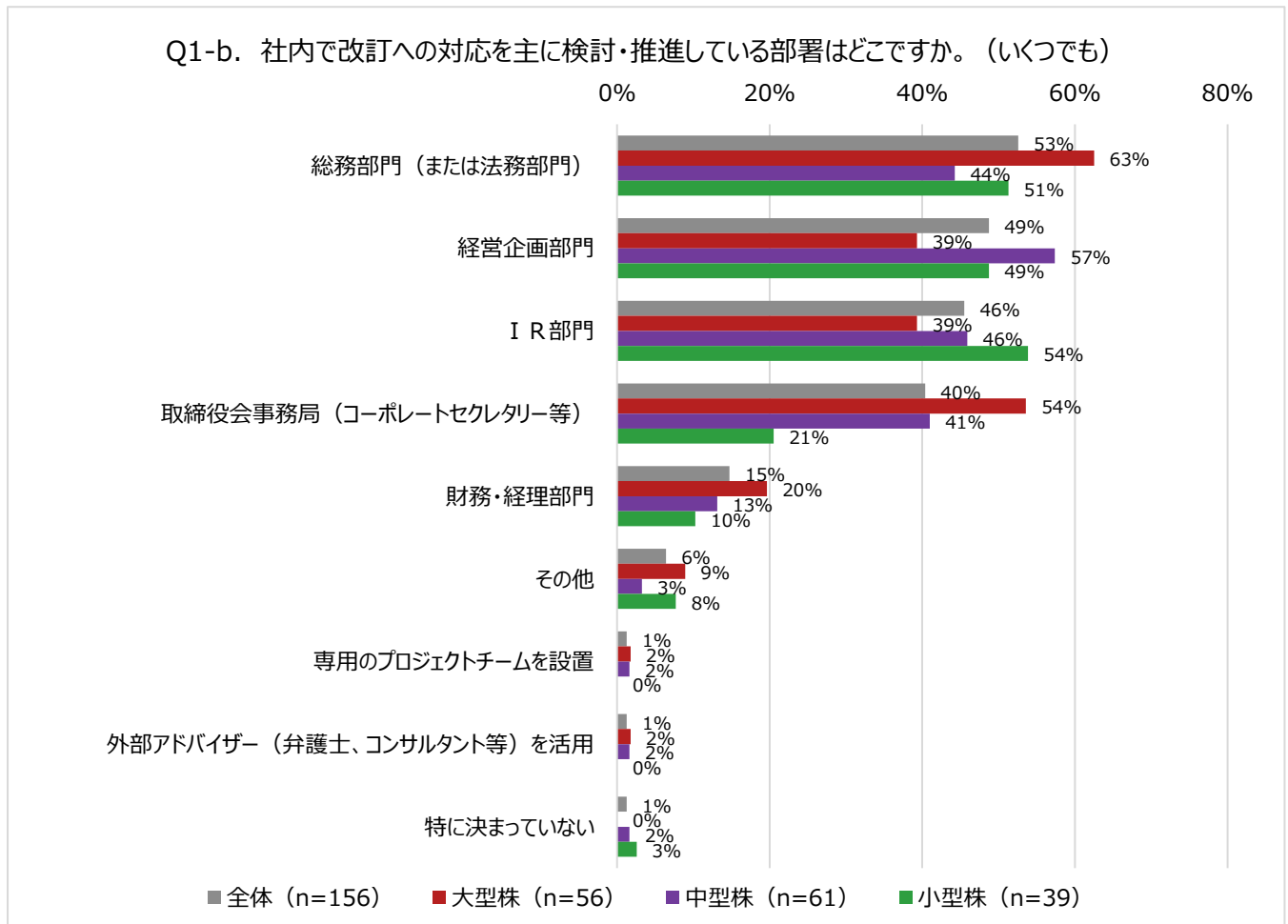
※帯グラフ内の番号 (①②…) は凡例の番号に対応します。

Q1 コーポレートガバナンス・コード改訂の認識と社内対応体制について

【Q1-a】改訂内容の把握



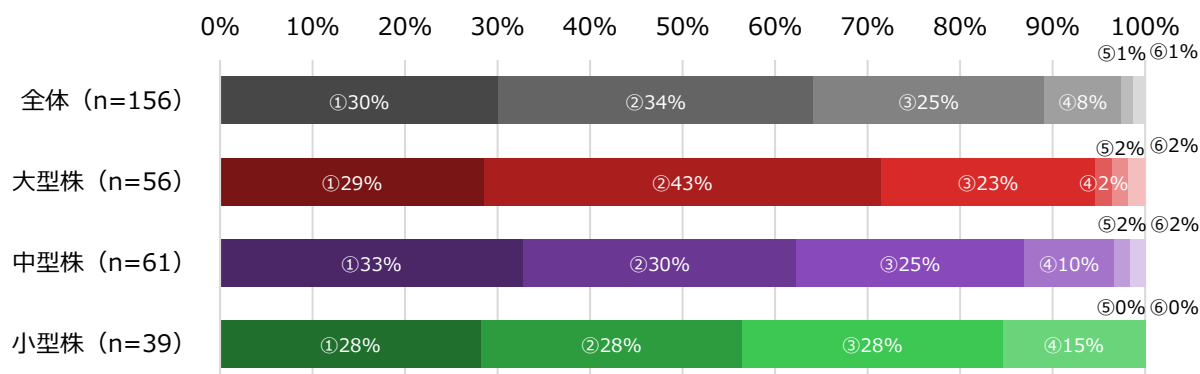
【Q1-b】対応部署



Q2 「プリンシプル化・スリム化」への受け止めについて

【Q2-a】見直しへの評価

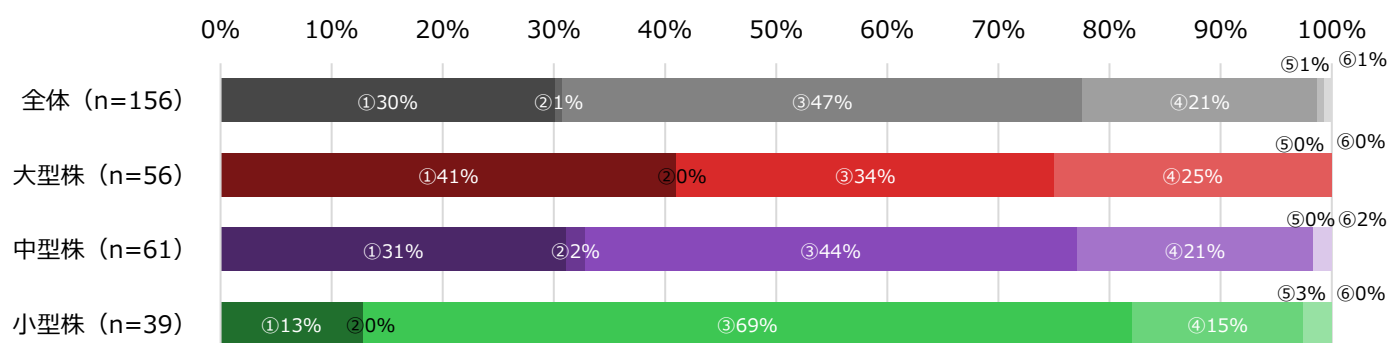
Q2-a. コンプライ・オア・エクスプレインの対象を抽象的・概念的な原則に限定し、具体的な内容や趣旨・背景を「解釈指針」に移管する今般の見直しを、どのように評価していますか。（1つだけ）



- ① 歓迎する（コード対応の実質化につながる）
- ② どちらかといえば歓迎する
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえば対応が難しくなると感じる
- ⑤ 対応が難しくなると感じる（解釈の幅が広くなり、投資家との対話で説明負担が増える等）
- ⑥ 無回答

【Q2-b】改訂を契機としたコンプライ・オア・エクスプレインの方針

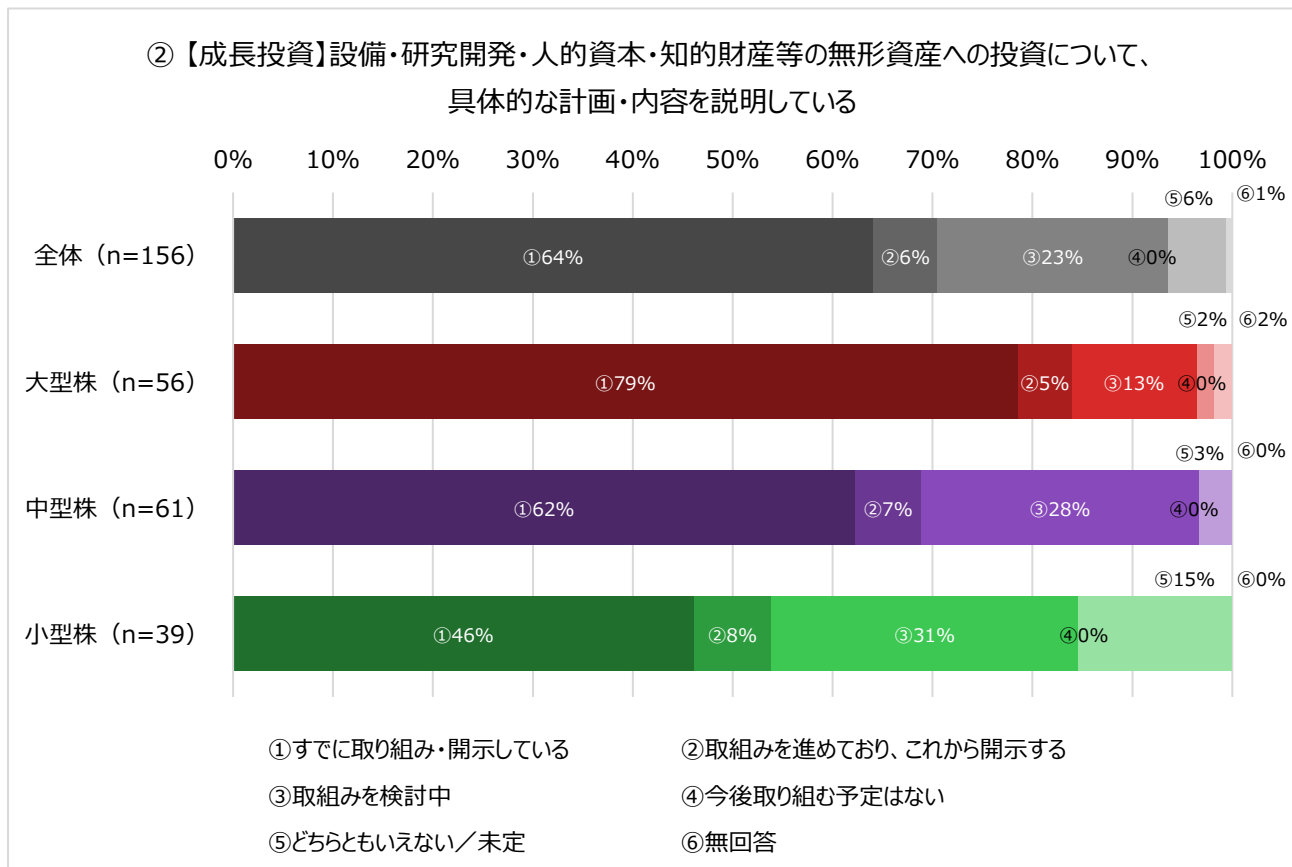
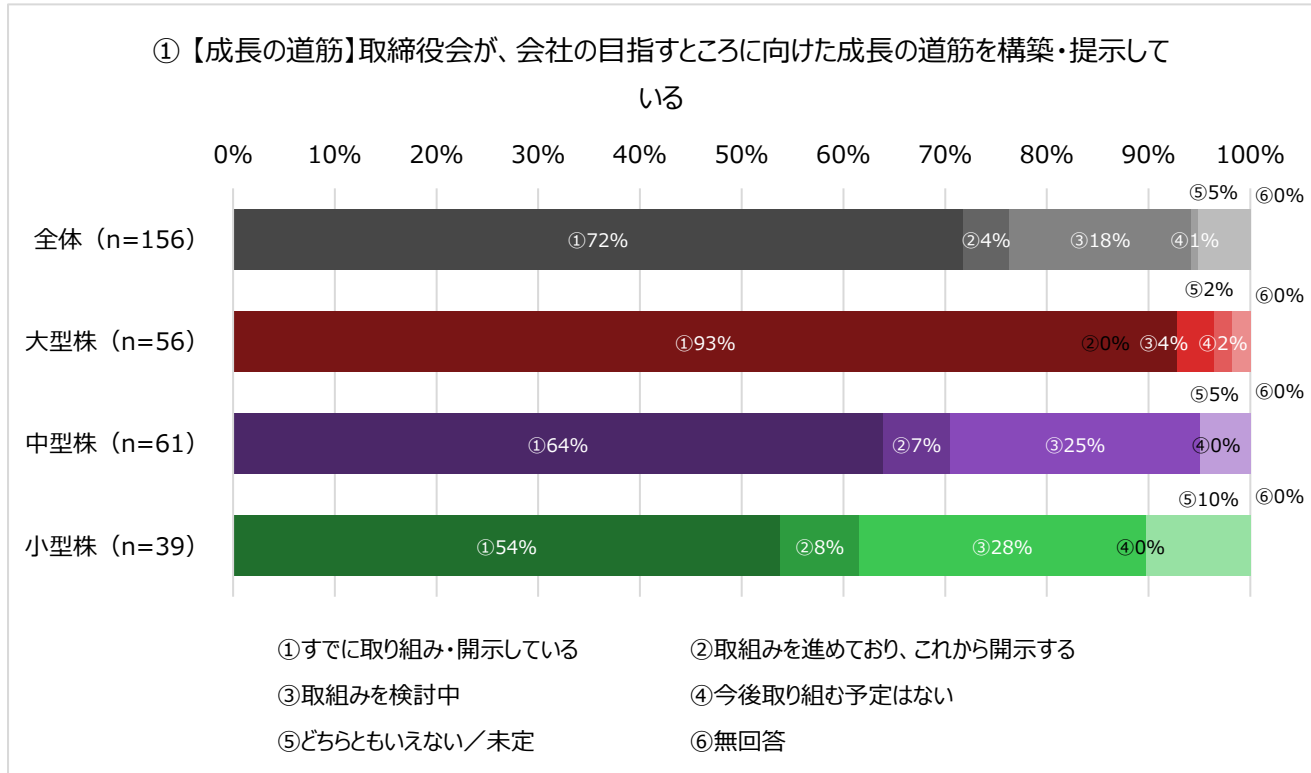
Q2-b. 今般の改訂を契機に、貴社のコンプライ・オア・エクスプレインの方針はどのように変わりますか。（1つだけ）



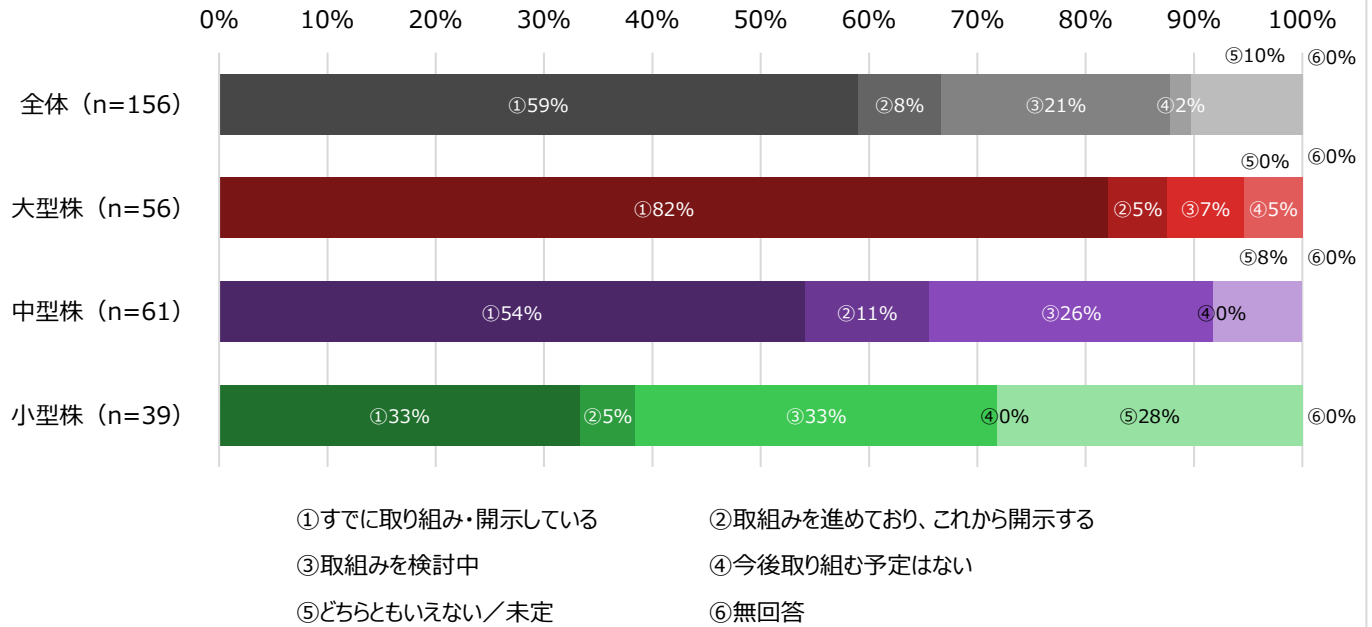
- ① 基本的にすべての原則をコンプライする方針を維持する
- ② これまでよりエクスプレインを積極的に選択する方針に見直す
- ③ 自社の状況に応じ、より実質的な観点からコンプライするかエクスプレインするかを判断する
- ④ 現時点では未定
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

Q3 改訂で強調されている「成長投資の促進」に関する取り組みの状況について

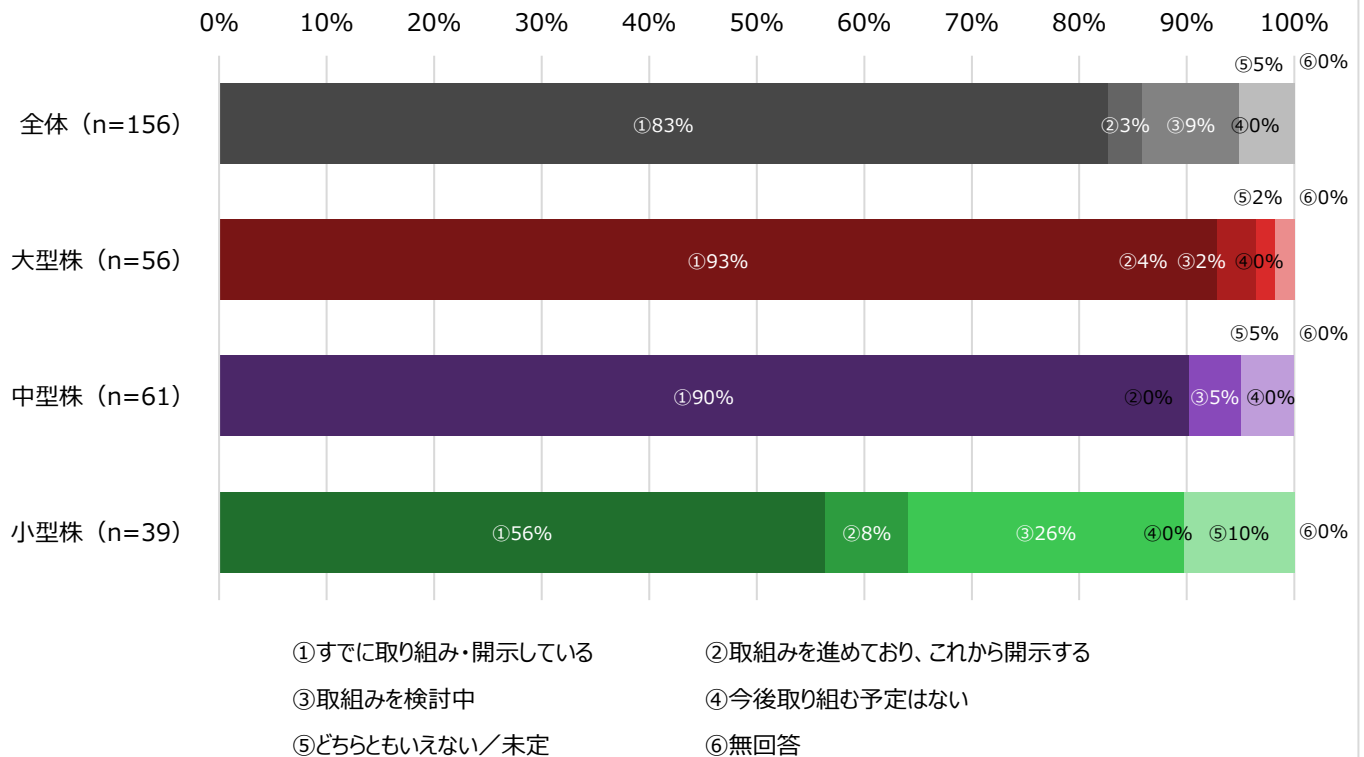
【Q3-a】現状 [以下の取組みについて、貴社の現状をお聞かせください。(各項目ひとつだけ) (n=156)]



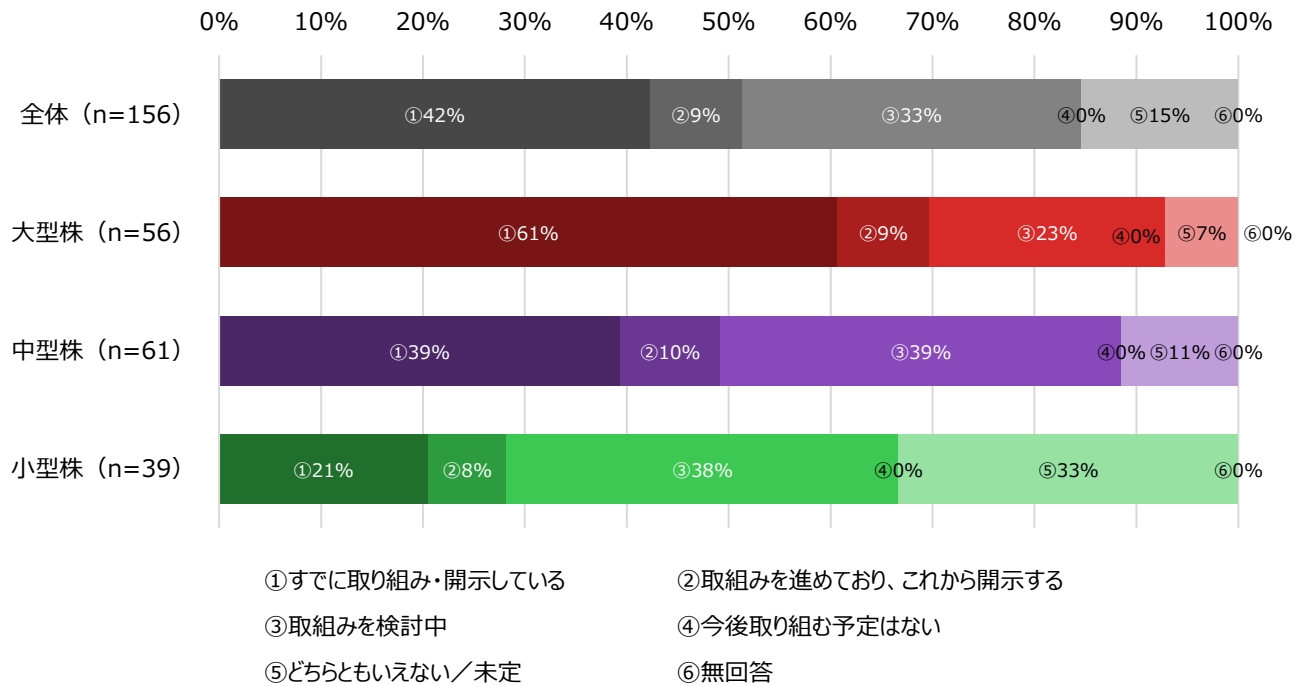
③【事業ポートフォリオ】事業ポートフォリオの見直しに関する基本方針・見直し状況を分かりやすく開示している



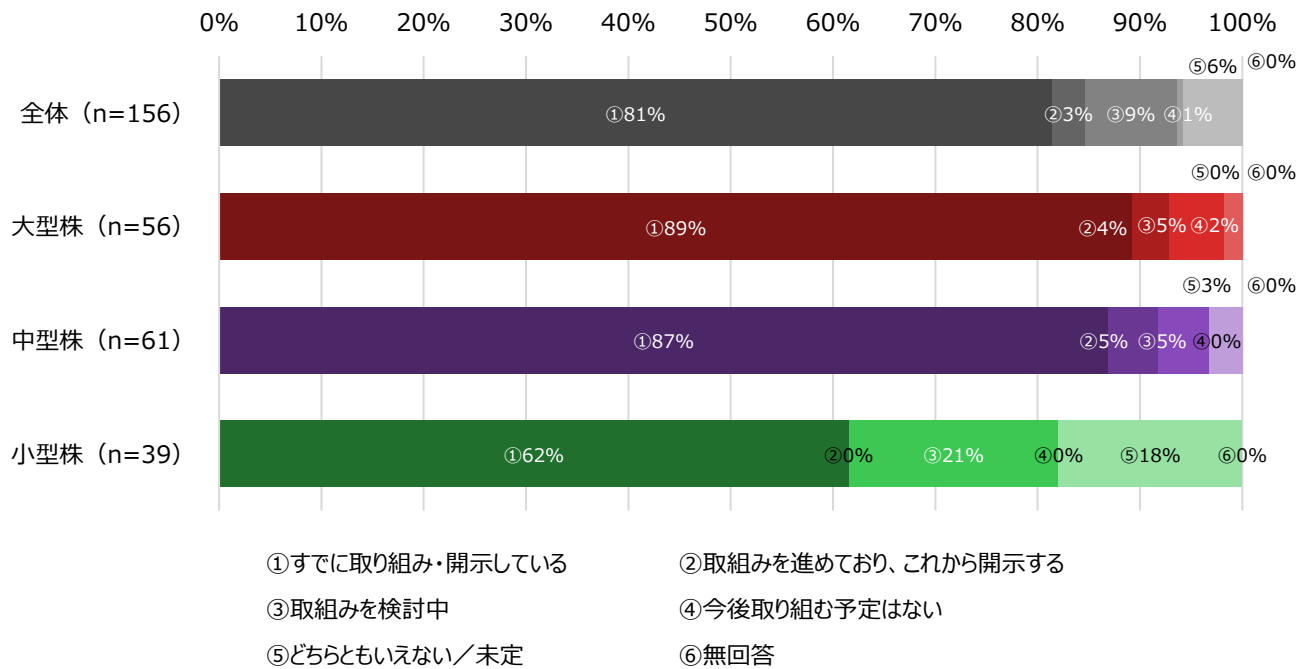
④【キャピタルアロケーション】資本配分方針（成長投資、M&A、株主還元等のバランス）を開示している



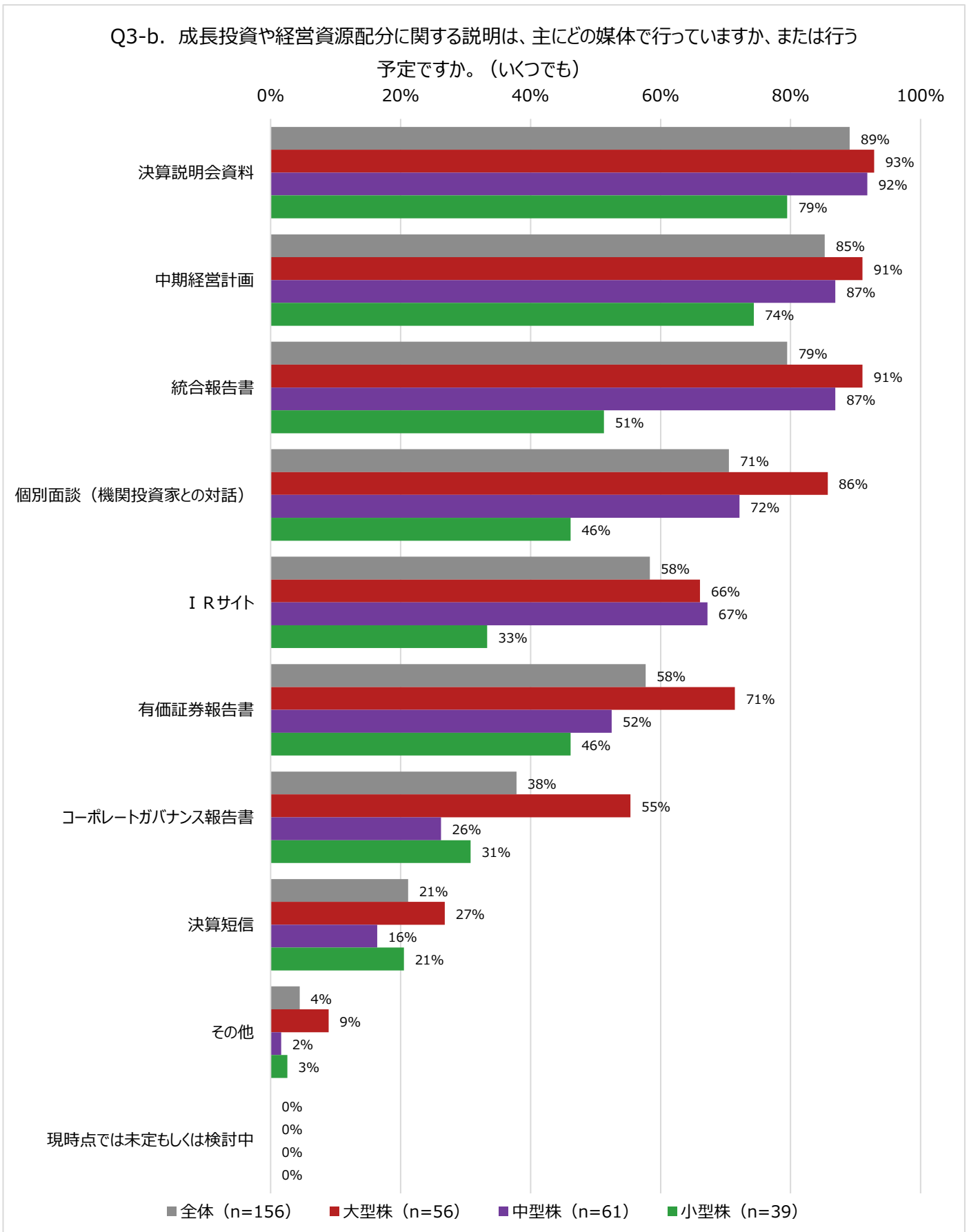
⑤ 【現預金等の検証】現預金等の金融資産や実物資産を成長投資等に有効活用できているかを、取締役会で不断に検証している



⑥ 【資本コスト・資本収益性】自社の資本コストを踏まえ、収益力・資本効率等に関する目標を開示している

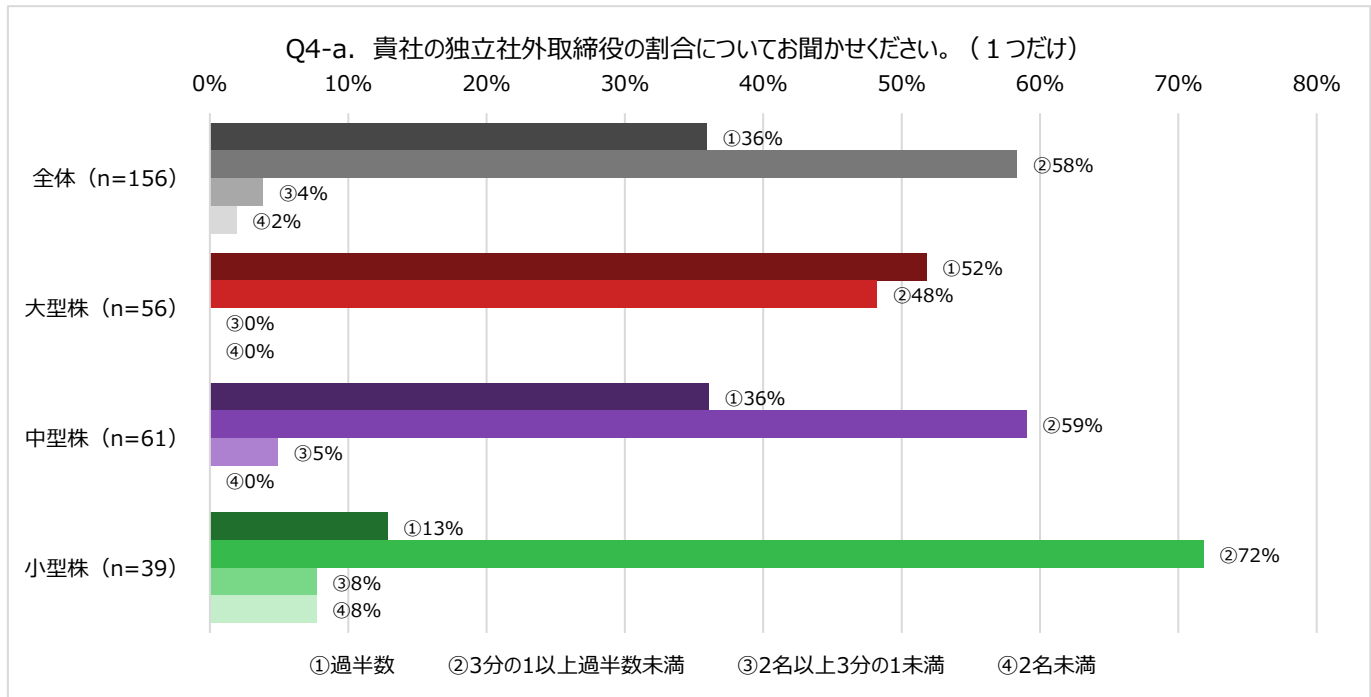


【Q3-b】 成長投資や経営資源配分に関する説明を行う媒体

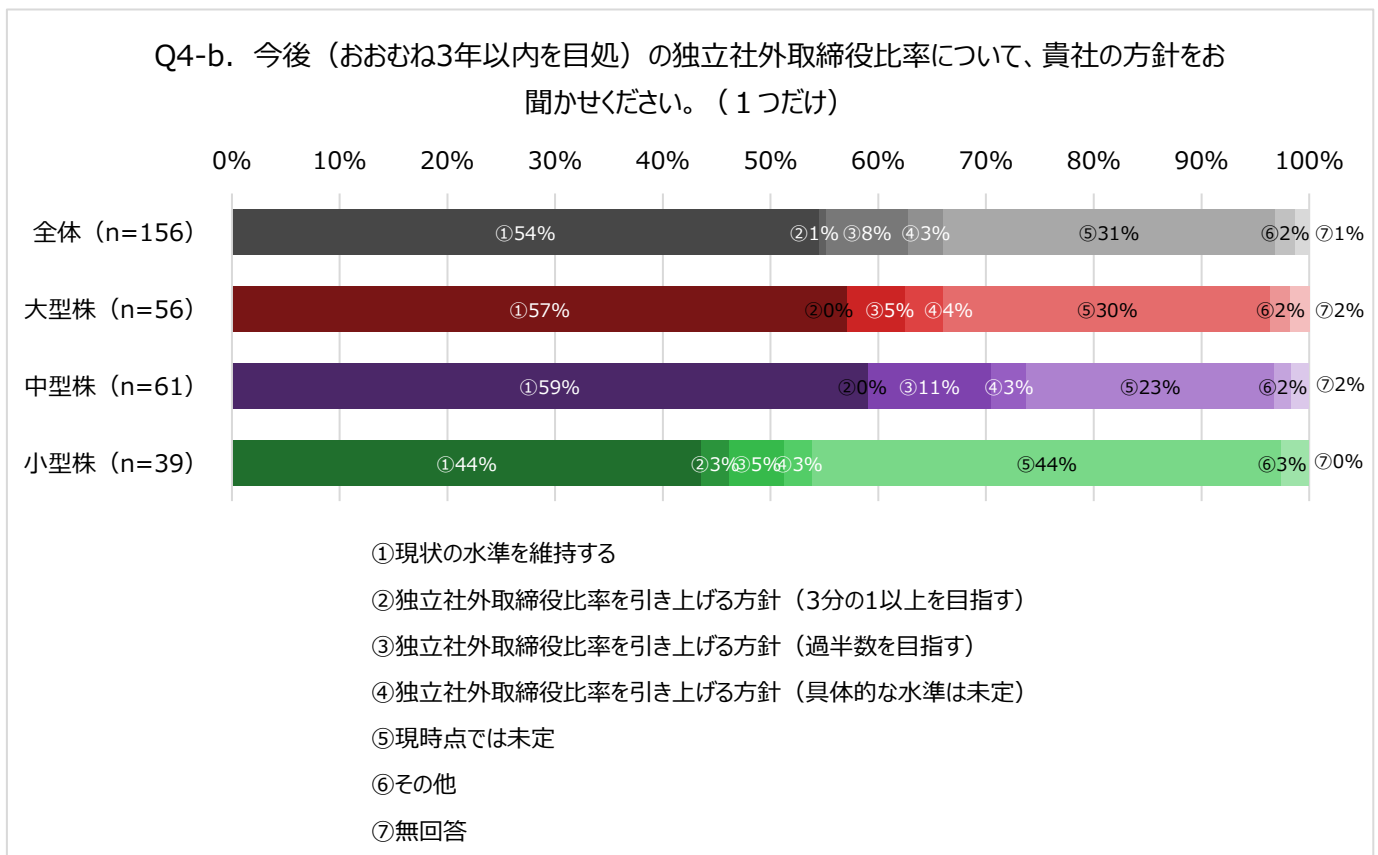


Q4「取締役会の機能強化」に関する取り組みの状況について

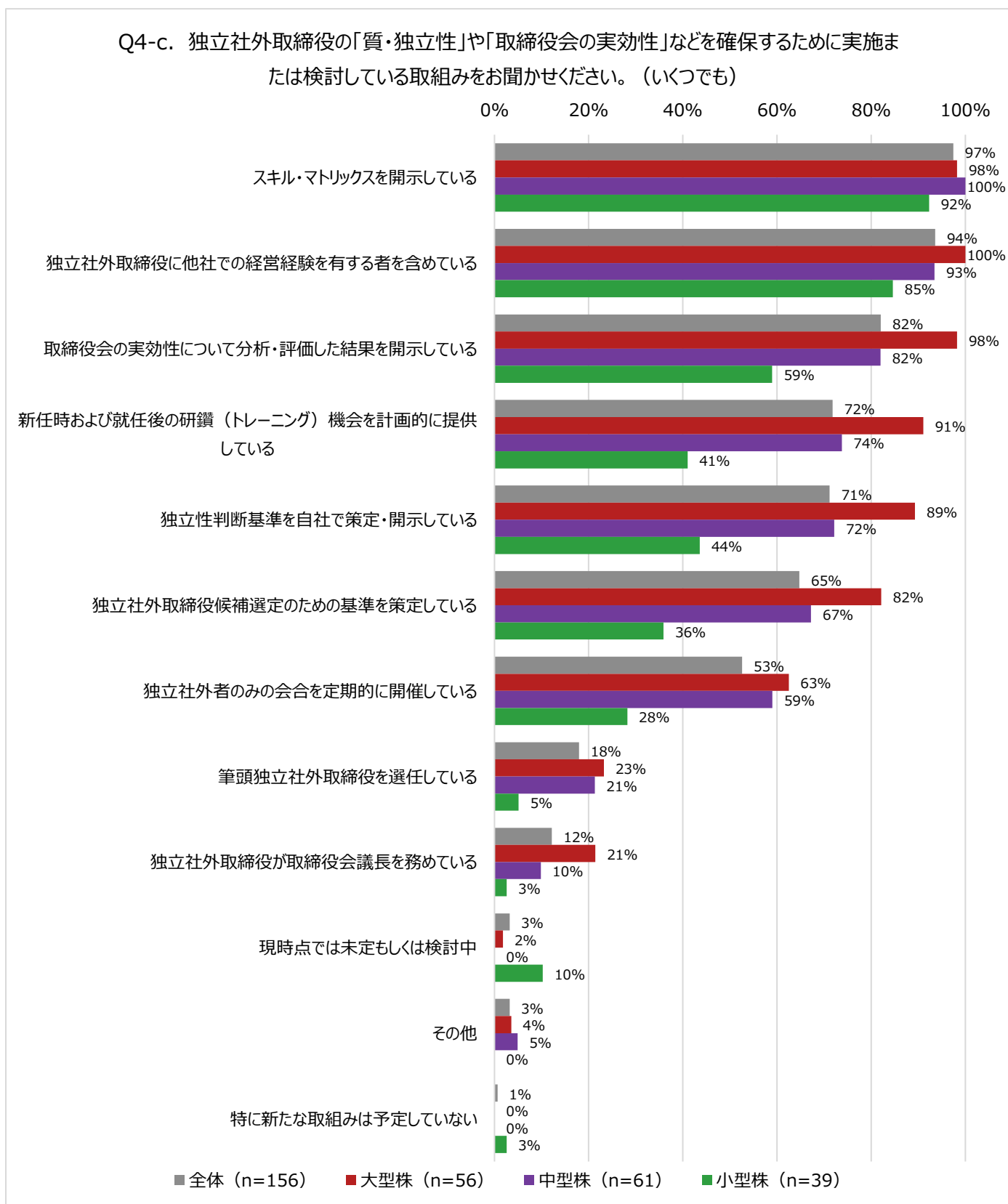
【Q4-a】独立社外取締役の割合



【Q4-b】今後（おおむね3年以内を目処）の独立社外取締役比率の方針

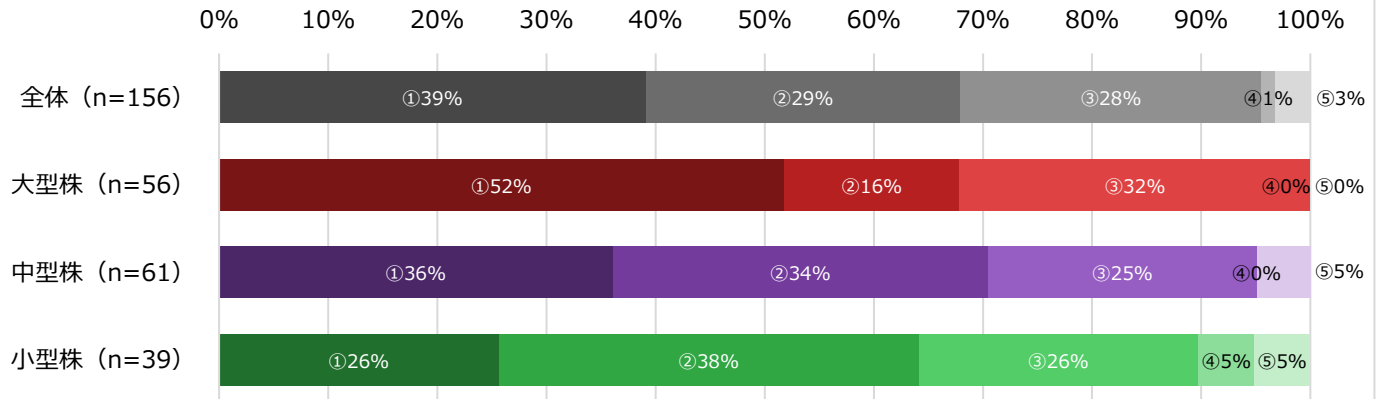


【Q4-c】独立社外取締役の「質・独立性」や「取締役会の実効性」などを確保するための取り組み



【Q4-d】取締役会事務局（コーポレートセクレタリー等）の機能強化

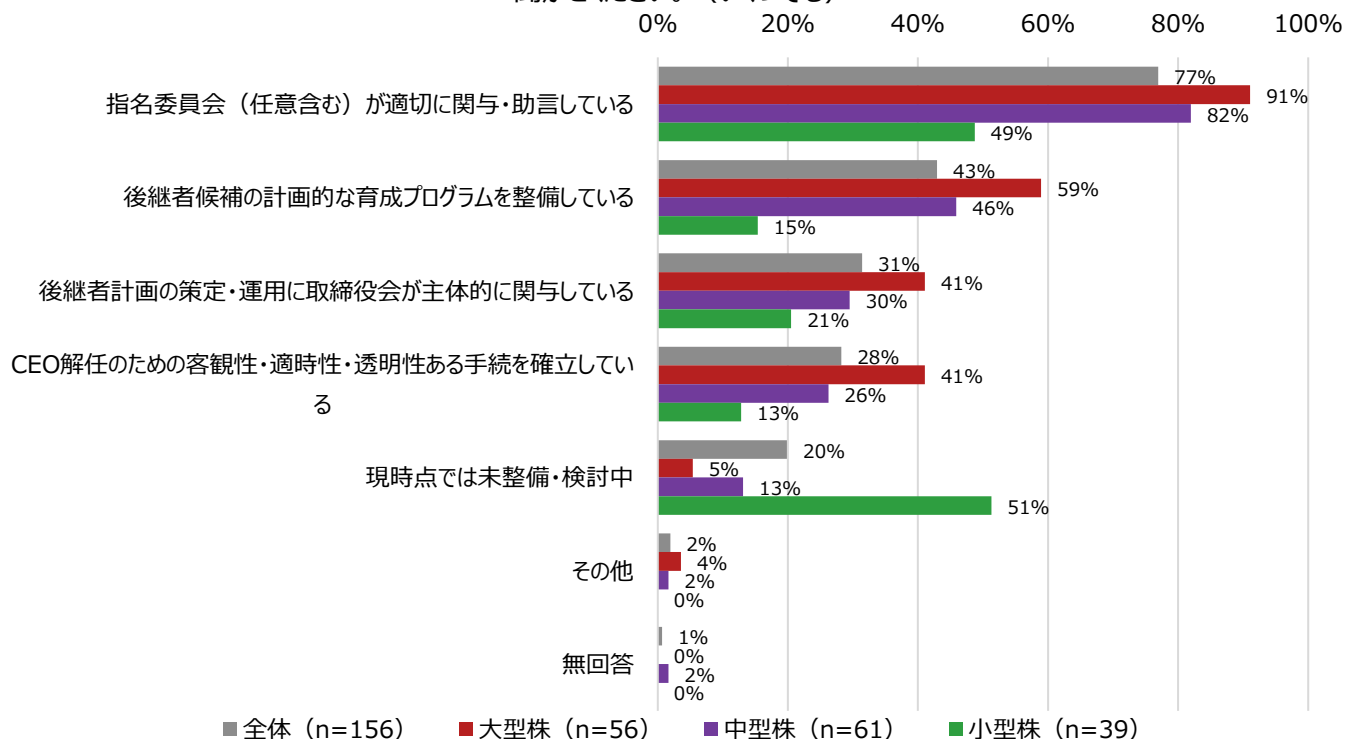
Q4-d. 取締役会事務局（コーポレートセクレタリー等）の機能強化について、貴社の状況をお聞かせください。（1つだけ）



- ①すでに専任の取締役会事務局を設置し、能動的な運営（議題設定・社外役員サポート等）を行っている
- ②取締役会事務局は設置しているが、主に事務处理的な役割にとどまっている
- ③取締役会事務局の機能強化を現在検討中
- ④取締役会事務局は設置していないが、今後設置を検討する予定
- ⑤取締役会事務局の設置・機能強化は予定していない

【Q4-e】CEOの選解任・後継者計画

Q4-e. CEOの選解任・後継者計画（サクセッションプラン）について、貴社の取組み状況をお聞かせください。（いくつでも）

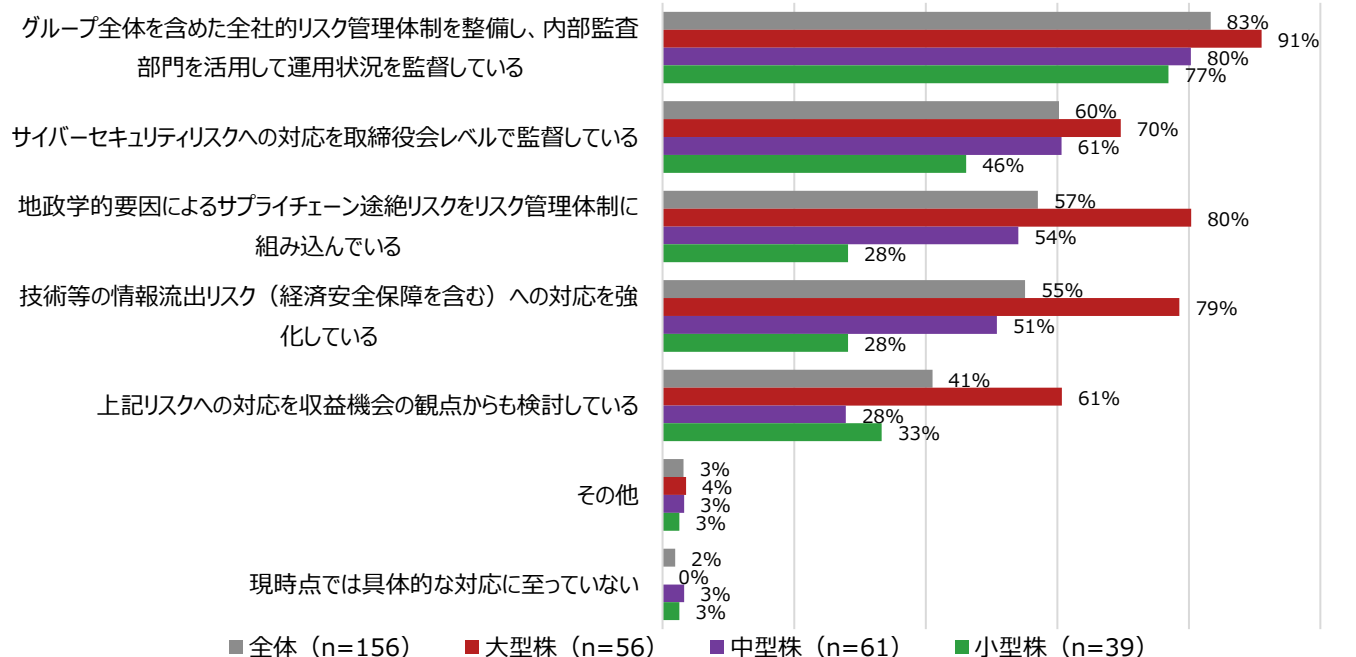


【Q4-f】リスク管理

Q4-f. 改訂では、リスク管理体制を整備する際の考慮事項として、サイバーセキュリティリスク、国際的な経済安全保障を巡る環境変化等の地政学的要因によるサプライチェーン途絶リスク、技術等の情報流出リスクへの対応が例示されました。貴社の取り組み状況をお聞かせください。（いく

つでも）

0% 20% 40% 60% 80% 100%

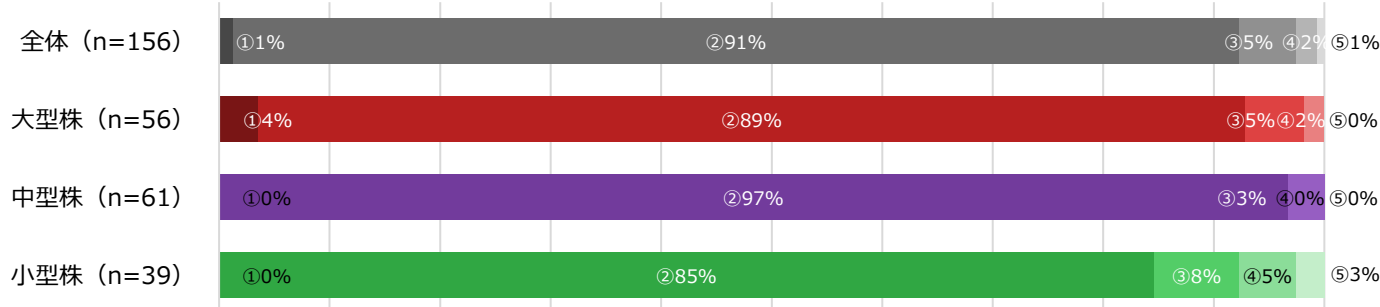


Q5 有価証券報告書の株主総会前開示について

【Q5-a】有価証券報告書の提出時期

Q5-a. 現時点での有価証券報告書の提出時期をお聞かせください。（1つだけ）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



① 株主総会開催日の3週間以上前に提出している

② 株主総会開催日前～3週間未満の時期に提出している

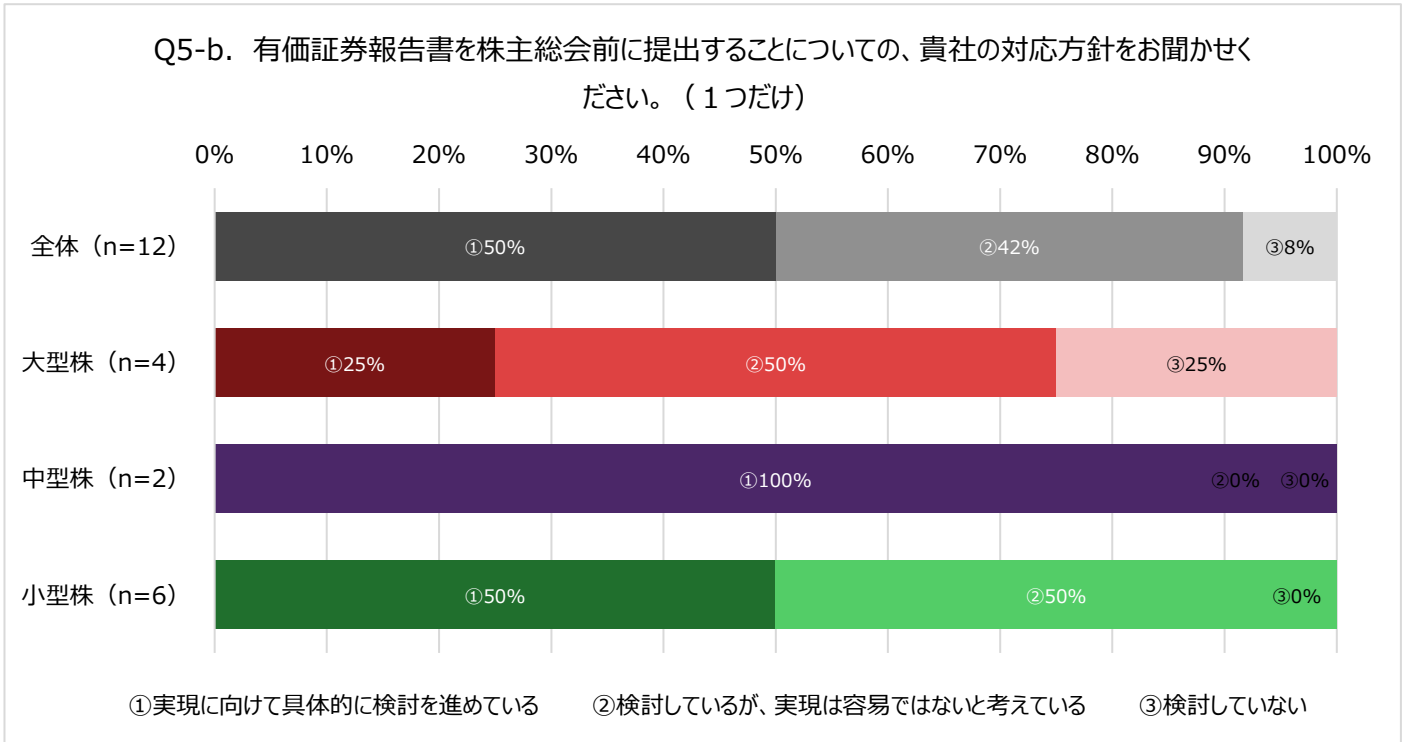
③ 株主総会開催日当日に提出している

④ 株主総会開催日の翌営業日に提出している

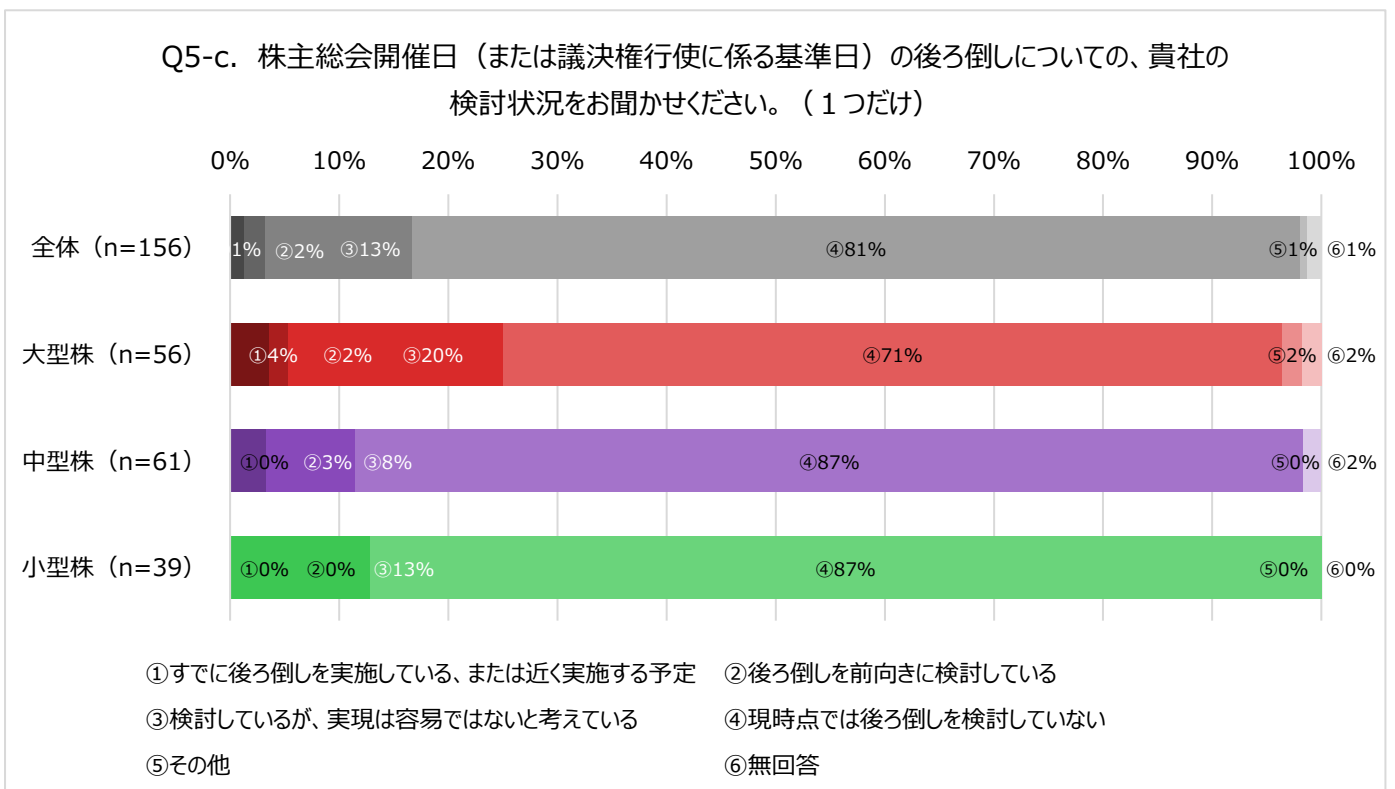
⑤ 株主総会開催日の翌営業日より後に提出している

【Q5-b】 総会前提出への対応方針 (n=12)

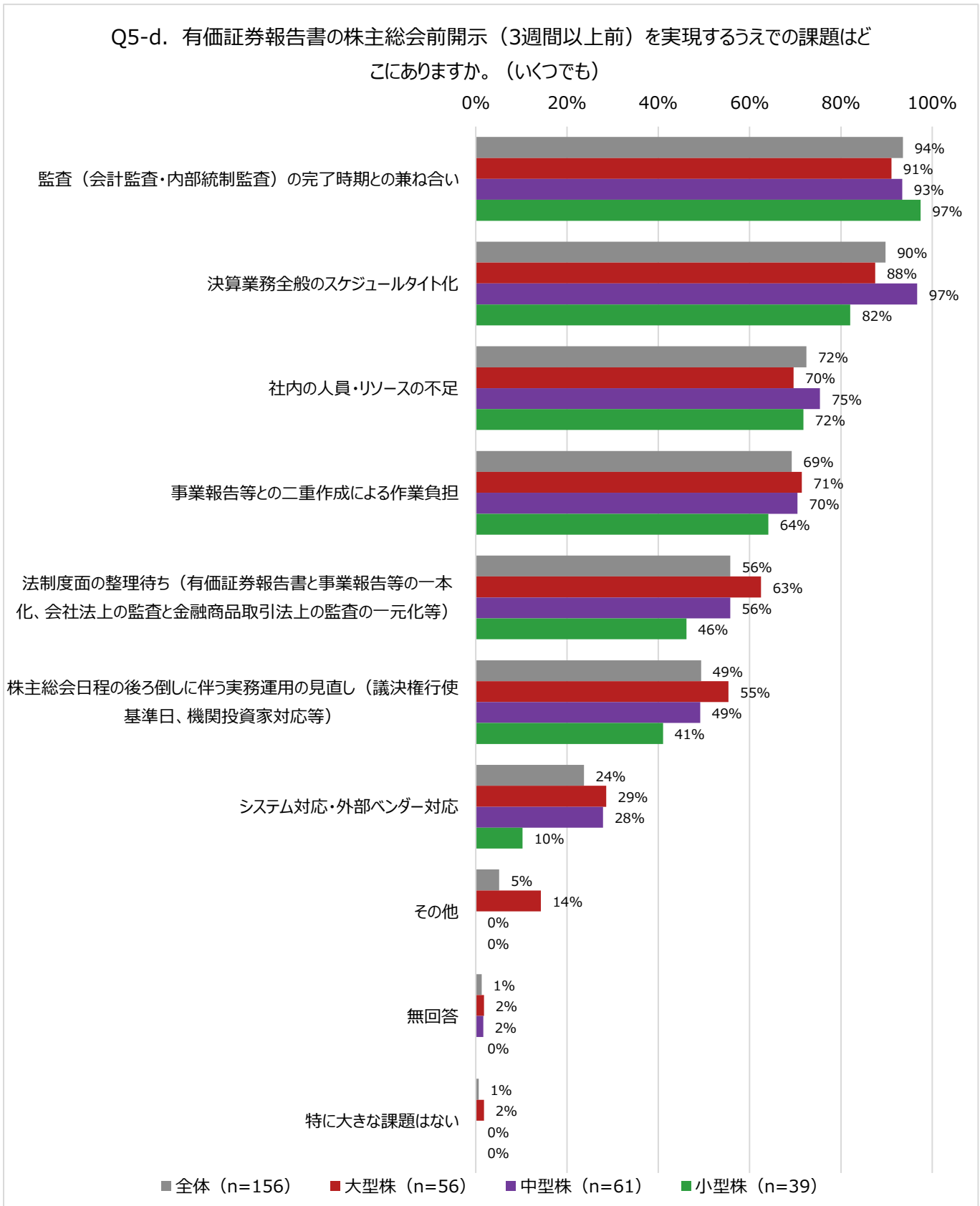
※ 【Q5-a】 で「当日に提出している」、「翌営業日に提出している」、「翌営業日より後に提出している」と回答した企業のみ]



【Q5-c】 株主総会開催日（または議決権行使に係る基準日）の後ろ倒しについての検討状況



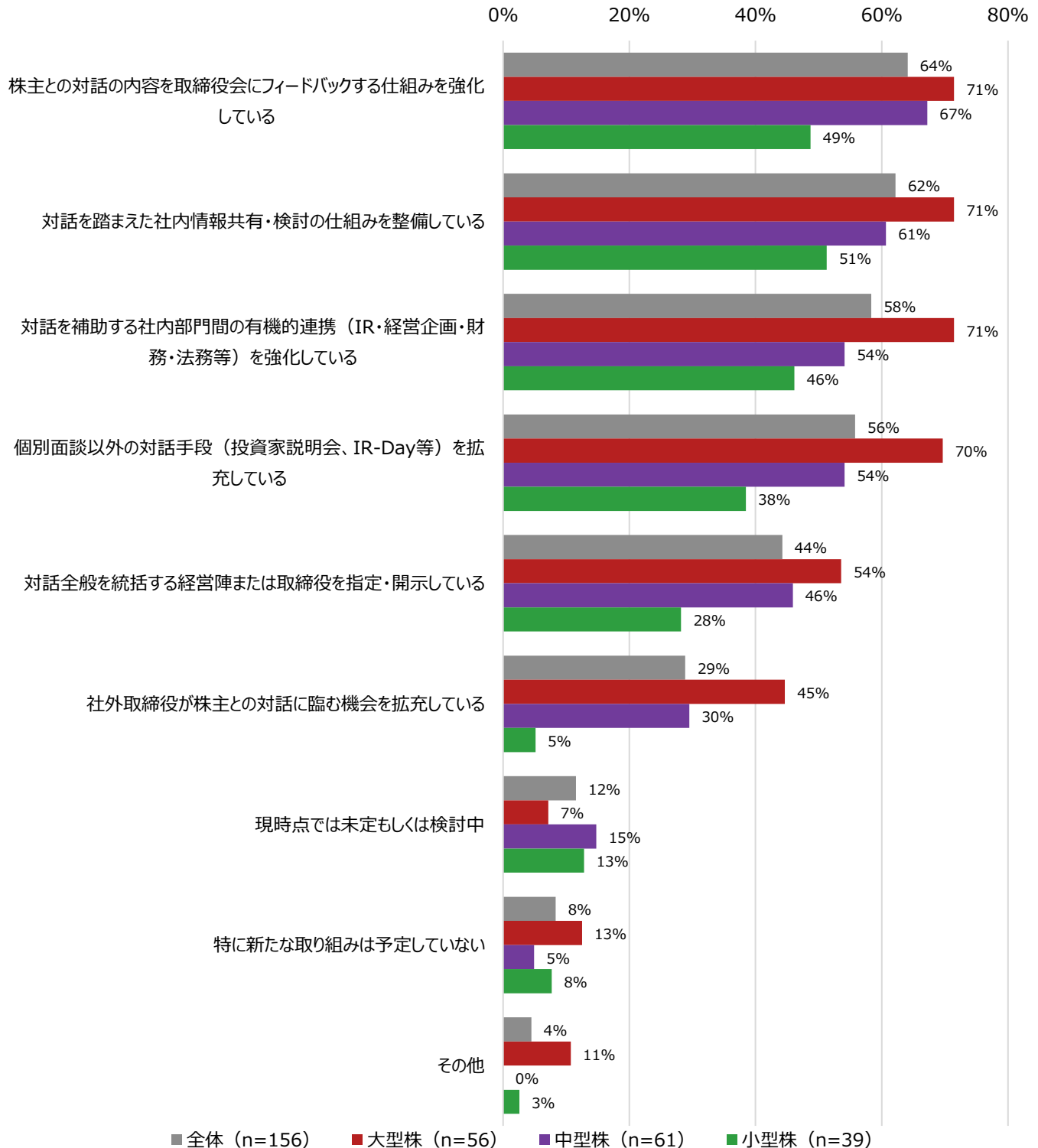
【Q5-d】 有価証券報告書の株主総会前開示（3週間以上前）を実現するうえでの課題



Q6 「株主との対話」「サステナビリティ・ステークホルダーとの協働」に関する取り組みの状況について

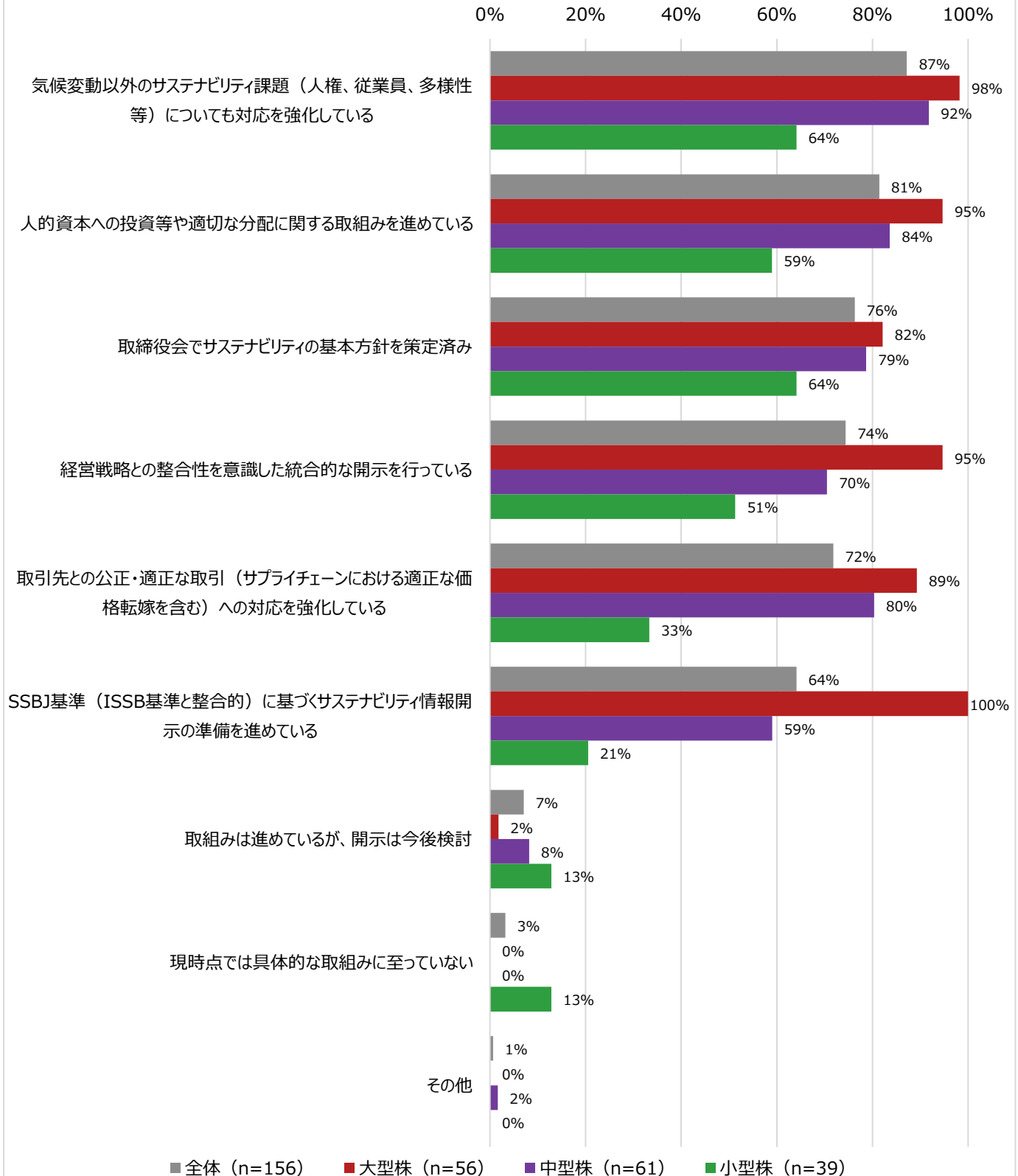
【Q6-a】 株主との対話の取り組み

Q6-a. 改訂では、旧第5章「株主との対話」を第1章に統合し、株主との対話の重要性が一層強調されています。これを踏まえ、貴社で新たに始めた、または補強した取り組みをお聞かせください。（いくつでも）



【Q6-b】サステナビリティを巡る取組みおよびステークホルダーとの協働

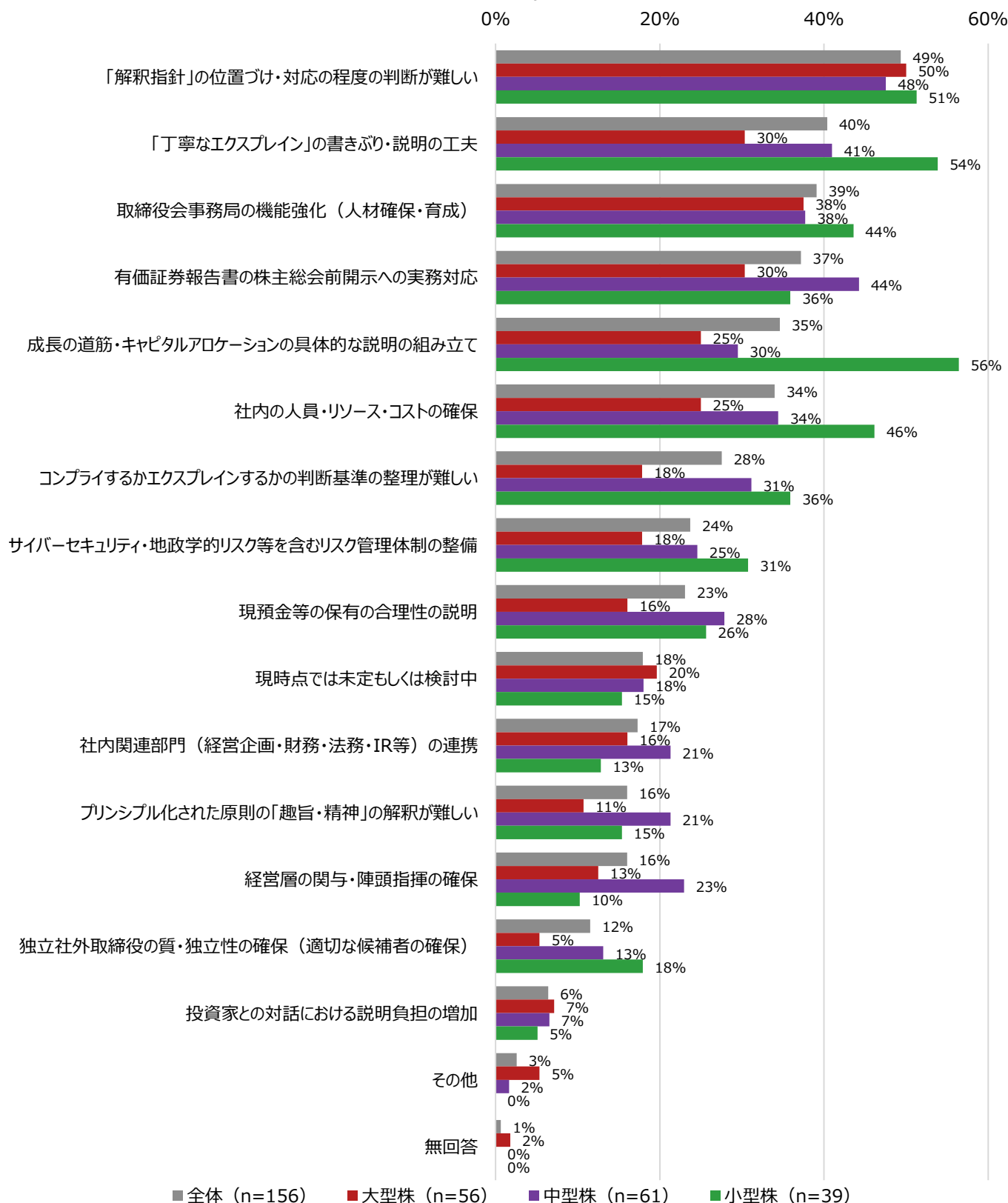
Q6-b. サステナビリティを巡る取組み（原則4-5）およびステークホルダーとの協働（基本原則2）に関する貴社の状況をお聞かせください。（いくつでも）



Q7 改訂対応を進めるうえでの課題

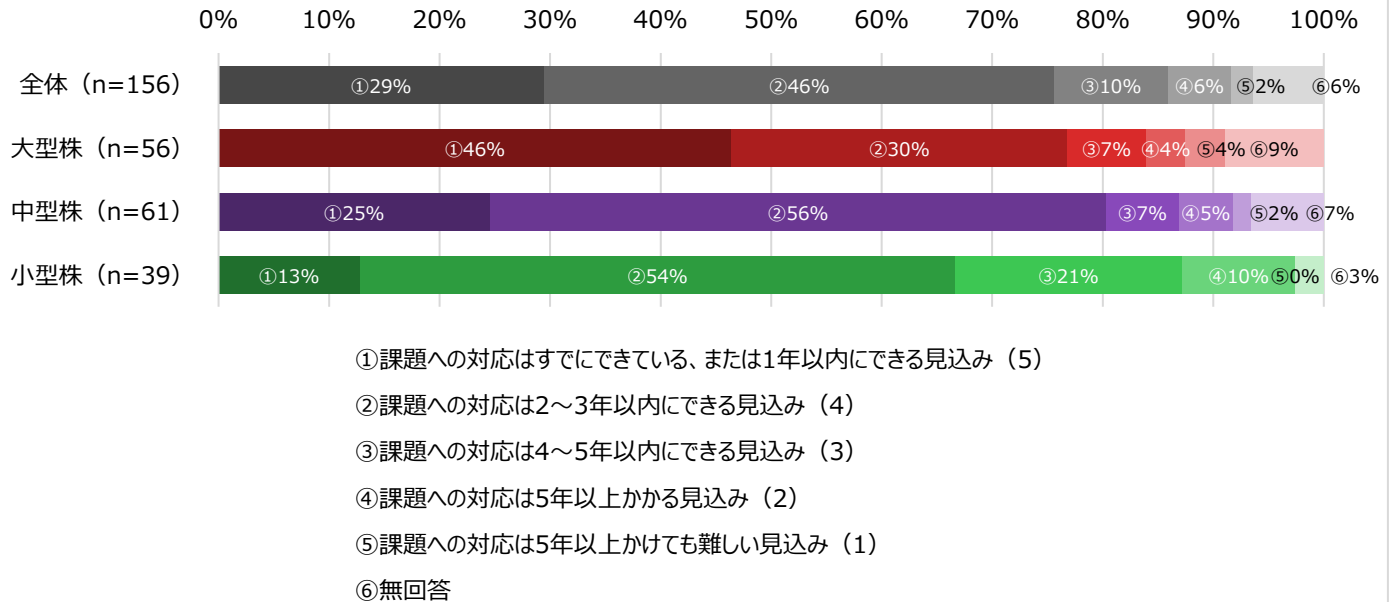
【Q7-a】改訂対応を進めるうえでの課題

Q7-a. 改訂への対応を進めるうえで、貴社が特に課題と感じている事項をお聞かせください。（いくつでも）



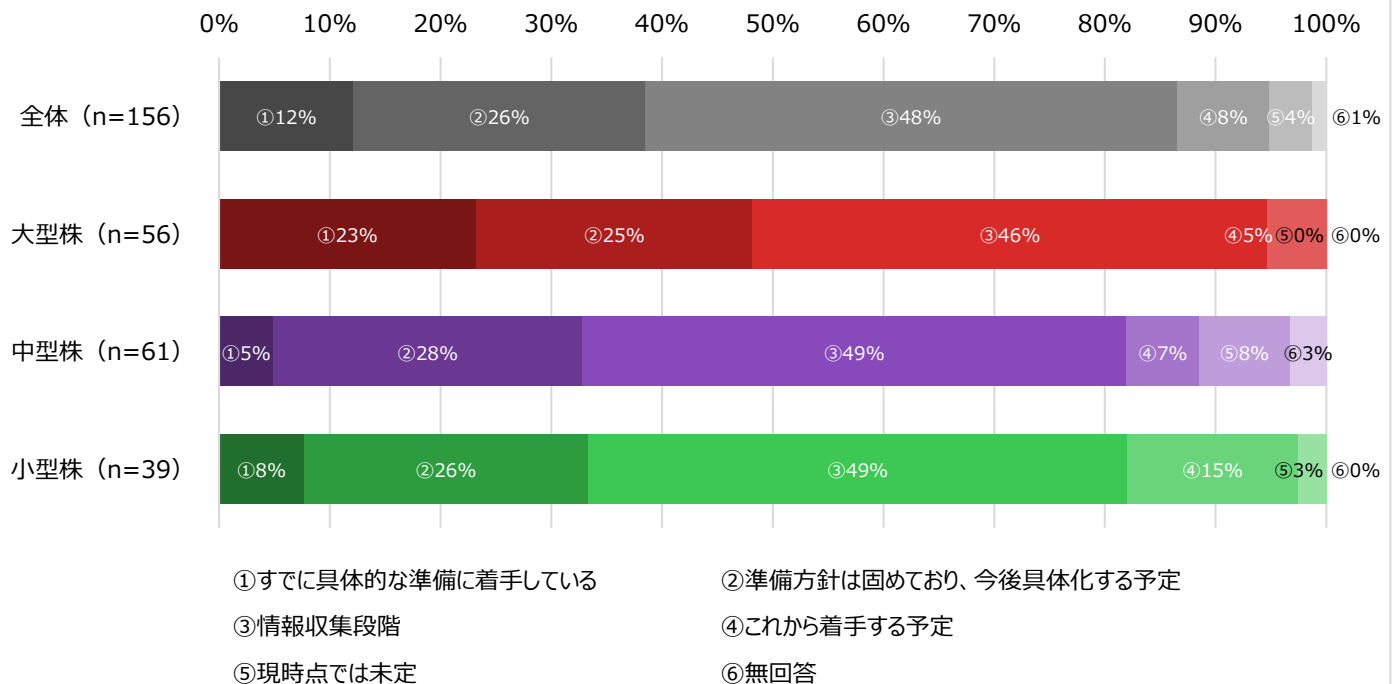
【Q7-b】 課題への対応状況

Q7-b. Q7-aであげた課題について、貴社の対応状況を5段階でお聞かせください。（1つだけ）



【Q7-c】 改訂コードに関するコーポレートガバナンス報告書の提出に向けた準備状況

Q7-c. 改訂コードに関するコーポレートガバナンス報告書の提出（提出期限：2027年7月末日）に向けた準備状況についてお聞かせください。（1つだけ）



以上